

オワゾリール会コンサート

「チェンバロ事始め・世界の旅」

「チェンバロ音楽・世界の旅」は音楽と楽器が国々を越えて波及し、イタリア、イギリス、フランダース、フランス、ドイツと人々の好みは変わっていきました。今回は音楽の中心地として栄えたロンドン、パリ、ベルリン、そしてウィーンで活躍した作曲家の作品を取り上げます。

チェンバロ音楽・世界の旅 IX !!

2011年 **9月18日** (日) 午後2時より **オワゾリールハウスにて**

H. パーセル 『音楽の侍女第2部』1689より シファーチェの別れ
新アイルランド民謡『リリブレコ』z.646

F. クーラン 神秘的な障壁
田園詩

C.Ph.Em. バッハ ヴェルテンベルグソナタ 第6番 口短調 Wq.49

J. ハイドン ソナタ 42番 ト長調 Hob.XVI/27 その他

予定使用楽器：リュッカーズ・タスカン二段鍵盤チェンバロ M.デュコルネ製作



演奏とお話 **井岡みほ** 前売り3000 (茶葉付き) 先着30名

★チェンバロ音楽・世界の旅 イタリア★世界の旅II イギリス つまらぬものと言う名のお菓子トライフル、イギリス人気質が出た名前?とても美味でした。
★世界の旅III フランダース(ベルギー、オランダ) 花の画集等をお見せし、質問も続出、話が多岐にわたり、皆さん楽しんでいただいたようでした。★世界の旅IV ~H.パーセル生誕350年、ヘンデル没後250年を記念して~ はイギリスを代表するパーセルと、ドイツ人のヘンデルがイギリスに帰化し興行主として活躍した話に興味がありました。★世界の旅V フランス 華麗なブルボン王家の栄華を極めたクラヴサン音楽をお楽しみ頂きました。★世界の旅VI ドイツ クラヴィコード、チェンバロが盛んになり、おなじみのバッハも出てきました。★世界の旅VII チェンバロからフォルテピアノへ1 知ったメロディのバルバートルのラ・マルセイーズ、フォルテピアノで聞くモーツァルトはとても魅力的、ソナチネアルバムも捨てたものでないと再認識、クレメンティは時代の寵児でした。★世界の旅VIIIチェンバロからフォルテピアノへ2 バッハの息子達とハイドンを取り上げました。

★チェンバロ音楽・世界の旅X チェンバロからフォルテピアノへIII

未定の日時はホームページに掲載致します。 <http://www.loiseau-lyre.com/concerts.html> 予約を得ず日時は変わる事があります。

場所/オワゾリールハウス 大阪府茨木市主原町10-22

申し込みは電話またはメール等でご連絡の上、郵便振替口座00920-6-0093027 名義/オワゾリールハウスにお振込み下さい。準備の都合上早い目をお願い致します。

主催/お問い合わせ オワゾリール会 大阪府茨木市主原町10-22 Tel:072-633-7276 Fax:072-635-2648 info@loiseau-lyre.com

井岡みほ Miho IOKA Profile

チェンバロ奏者、ソリストや通奏低音奏者として多数の演奏会に出演。他にフォルテピアノ、クラヴィコードの演奏も定評がある。2006年モーツァルト生誕250年記念井岡みほ 久合田緑 クラヴィアとヴァイオリンの為のソナタ全曲演奏会(大阪東京各5回)では、時代の経過とともにチェンバロ、フォルテピアノ(シュタイン)、モーツァルトがウィーンで愛用したワルターのフォルテピアノ、1806年製スクエアピアノを演奏し、音楽雑誌でも取り上げられ好評を博した。

同志社女子大学音楽科ピアノ専攻卒業、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業、国家芸術家資格取得。ピアノとチェンバロを両専攻でピヒト=アクセンフェルトに、通奏低音をS.ヘラーに師事、K.ギルバール、G.レオンハルト、H.ボルケント(Fp)にも師事。オワゾリールアンサンブル結成。大阪フィルハーモニー管弦楽団、センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、ヴィルトオーズティ プラハの公演にソリストとして、その他 V.フデチェック、B.シェーファー、E.ピヒト=アクセンフェルト各氏等と協演する。大阪音楽大学、神戸女学院大学、同志社女子大学講師。